

プロジェクト型研究提案(CICP2012)の公募について**公募の趣旨**

CICP は本研究科の教育事業です。第一の目的は学生の研究プロジェクト企画・推進力やコミュニケーション力を育むことであり、研究成果を出すこと自体ではありません。大胆なテーマに挑戦し、様々な失敗を将来の糧とできる、またとないチャンスです。皆さんが心の中で大切に暖めているアイデアをこの機会に是非実現して下さい。

公募内容

独創性や将来性のある研究プロジェクト提案を 8 件程度選抜し、1 件あたり 100 万円を上限(選抜時評価による傾斜配分)として経費を支給します。ただし、以下の要件を満たす応募を優遇(審査時の採点に加点)をします

- 「環境」「安全安心」「福祉」のいずれかのテーマを扱うもの
- 留学生がメンバーに加わった多国籍チームによる提案

淡路島(予定)での模擬国際会議における中間発表会(9 月頃)、2 月のゼミナール II にて英語による成果発表、3 月のスプリングセミナーにてポスターセッションでの成果発表・コンテストを経て、3 月中旬に報告書を提出します。ポスターセッションでは来場者(教員含む)による投票により最優秀プロジェクトが選ばれます。

応募資格

プロジェクトリーダーが情報科学研究科博士前期・後期課程の学生であること。

プロジェクト・チューターを引き受ける旨の事前承諾を本学教員を 1 名から得ていること

応募方法

<http://cicp.naist.jp/appform> からダウンロードした様式に記入し、PDF に変換後に e-mail に添付して cicp2012-mng@is.naist.jp 宛に送ること。応募はプロジェクトリーダーの曼陀羅アカウントから送信されたメールに限ります。例) taro@is.naist.jp

Subject は「cicp2012-学生番号」とすること。例)cicp2012-123456(ハイフン含め全て半角)

スケジュール (詳細は <http://cicp.naist.jp/>にて随時更新)

5/18	(金)	公募開始(WEB 掲示および学生メーリングリスト送信)
6/8	(金)	15:00 応募締め切り(延長無し)
6/15	(金)	結果通知および研究開始(後日、交付金額と予算執行の説明会)
8~9 月頃	予定	模擬国際会議における中間発表会
2 月中旬		ゼミナール II にて成果報告会
3 月中旬		スプリングセミナーにてポスターセッション(全員参加)
3/13	(水)	報告書提出締め切り

提案が採択された場合に生じる義務

- すべての CICP イベントへの参加と研究発表
- スケジュールに従ったプロジェクト完了と報告書の提出
- 予算の適正な執行(**超過も使い残しも不可**)と、購入物品の適正な管理に努めること。
 - 発注に際して、チューターを含む各プロジェクトが責任をもって業者選定および伝票等の準備を行い、しかる後に、CICP 事務局に依頼すること。
 - 事務局の閉室時間(17 時)を過ぎて用務を依頼しないこと。

以上が遵守されない場合、当該プロジェクトの支援を打ち切ることがあります。

Q&A

- 1) 分担者に他大学の学生や休学中の学生を加えることができるか
⇒他大学の学生はOK. 休学中の学生は不可。
- 2) レンタル料金（電波暗室）や心理実験の被験者謝金などは計上できるか
⇒OK.（必要経費のどこでもよいので、その旨記載のこと）
- 3) 多年度継続申請
⇒形式上は単年度だがエンカレッジする。
- 4) スプリングセミナーでの行事自体をプロジェクトにできるか
⇒できる。推奨する。
- 5) アカデミックなものがよいのか
⇒そうであってもなくてもよい。
- 6) 論文研究と相違があるほうがよいのか
⇒自主性を重んじるという観点からは相違があるほうがよい。
- 7) 2012年4月以降の旅費は出せるか
⇒不可（3月は可だが、3/31に帰国している必要がある）
- 8) 購入時の業者選定などを事務局に依頼できるか
⇒不可。事務局は持ち込まれた伝票の会計処理のみ行う。
⇒業者選定から伝票「見積・納品・請求」入手まで各チュータが指導すること。
- 9) チュータは所属研究室の教員でなければならないか
⇒本人の内諾があれば、他研究室の教員でも構わない。